

動画でドライバー募集

バナー広告 若者採用に奏功

AZ-COM丸和・支援ネットワーク（AZ-COMネット、和佐見勝理事長）が支援メニューの一つとして力を入れている。動画によるドライバー募集広告が大きな効果を生んでいる。

7月中旬からスタートしたばかりだが、広告を掲載している会員事業者20社には、既に多くの新人が入社している。

AZ-COMネットでは、20～30代の層が利用者の7割を占めるバイトルネクストが、今の求人層にマッチしていると考えた。応募者の多くは30代以下とあって、高齢化の進むトラック業界にとつては魅力的な媒体と言える。

市）の動画では、応募者から「動画と画像とホームページの雰囲気が良くて応募した。動画を見たら、未経験の人出ていたので安心できた」といったコメントが寄せられている。今回のバナー広告の掲載料金はAZ-COMネット向け料金として、4週間で

15万円、8週間で27万円（いずれも動画作製料込み）。更に長期契約の場合は割引される。

今後、AZ-COMネットでは関東地区での成果を踏まえ、他の地区でも20社程度まとまれば、今回と同様の形での掲載を計画している。

（谷本博）

求人サイト運営のディップと契約し、正社員・契約社員を募集する「バイトルネクスト」のトップページにバナー広告の一つとして掲載している。この内容が求職者の関心を引き付けているようで、AZ-COMネット会員では、ドライバー未経験の若者や女性の採用が増えているという。8週間の契約で9月中旬まで継続する予定だ。

この中で、ドライバー4人から応募のあった陽正運（田村正憲社長、宇都宮

内藤正光事務局長は「同じ一般社団法人でも、トラック協会ではこうした求人募集を実施することは難しいはず。支援メニューの一つとして業界の活性化に貢献できれば」と話している。